

# 令和5年度入試の出題意図・ねらい

## 国際関係コース 一般選抜（前期）

### 第1問

#### 【課題文と問題について】

課題文はスウェーデンの学校教育の特徴を通じ、民主的教育と民主主義の価値、さらには政治的中立性との関係について論じた著書の一部である。民主主義的価値を重視しながらも学校は価値中立ではあり得ないとする一見、矛盾するように思える論点の関係性、整合性を見定めることが理解に際して問われる。スウェーデンにおける学校教育と日本の教育の場の「政治的中立」をめぐる相違点についても理解が求められる。そこから政治的中立においては政党と学校教育を分離することと直結しないことが明らかとされる。問1、問2とも長文の解答問題はあるが、テキストの理解、論点の整理が回答に際し重視されることになる。

問1は出題したテキスト内容の重要な部分の理解力を問う出題である。また適切な日本語の表現力、長文の読解と要約力も問われる。スウェーデンの学校教育の民主主義的特徴をテキストに基づき要約出来れば良い。

・《求める人材》「1 知識・技能」の「(1) 国際関係コースの専門分野を学ぶために必要となる、世界や日本の近代、現代社会についての基礎的な知識及び教養」と(2) 日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を問う。

・国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点

「1 知識・技能」の「(1) 国際関係コースの専門分野を学ぶために必要となる、世界や日本の近代、現代社会についての基礎的な知識及び教養」と(2) 日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を問う。

・《選抜の基本方針》1. 一般選抜（前期日程）

「国際関係コースでの専門性を習得する上で必要となる国際関係への関心について自ら論を立てて記述」する能力を見る。

### 第2問

出題文が比較的長いいため相応の速読力が求められる。スウェーデンの学校教育における政治的「中立」の意味するところが日本のそれと対称的であることに留意し記述することが求められる。

・《求める人材》「1 知識・技能」の「(1) 国際関係コースの専門分野を学ぶために必要となる、世界や日本の近代、現代社会についての基礎的な知識及び教養」と(2) 日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を問う。

・《高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと》の「1. 高等学校教育課程で学ぶ科目の十分な基礎学力」を評価する。「2.まとまった分量ある日本語の文章を筋道を立てて読み解く力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を評価する。「4. 地理歴史・公民の知識を総合的に関連づけて問題関心を養い、自己の体験総体を生かして幅広い視野から日本及び世界で生じている複雑な社会現象を考察しようとする意欲」を評価する。

・国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点

「1 知識・技能」の「(1) 国際関係コースの専門分野を学ぶために必要となる、世界や日本の近代、現代社会についての基礎的な知識及び教養」と (2) 日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を問う。

・《高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと》の「2. まとまった分量ある日本語の文章を筋道を立てて読み解く力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を評価する。

・《選抜の基本方針》 1. 一般選抜（前期日程） 「国際関係コースでの専門性を修得する上で必要となる国際関係への問題関心について自ら論を立てて記述させ、主体的な探求心、協働性、多様性への理解、表現力・思考力を総合的に評価」する。